

職員からのひと言

令和7年6月版

～はじめに～

検察事務官は、新規採用された後、毎年5月頃に約1か月間、検察事務官として必要な基礎的知識及び技能の修得等を目的として「検察事務官初等科研修」が開催されます。

研修が行われる場所は毎年度異なりますが、今年度は東京高等検察庁管内と高松高等検察庁管内の検察庁に新規採用された職員が合同で、千葉県浦安市にある研修寮で研修が行われました。

高知地方検察庁からは、3名の新規採用職員が研修員として参加し、たくさんのお話を学んできてくれました！

今回の「職員からのひと言」は、研修に参加した3名の新規採用職員から寄せられた初等科研修の感想を御紹介します。



事件管理担当 @ 捜査公判管理

千葉県浦安市での約1か月の初等科研修を通じて、検察庁で働く上で重要となる、基礎的な法律や検察と他機関の組織関係、日常業務の流れ、社会人としての在り方など、多くのことを学習して参りました。教わったことを今後の業務でしっかり活かしていこうと考えております。

また、今回の初等科研修は、東京高検管内で採用された方々に、高松高検管内で採用された方々を加えた総勢124名での研修でした。最初はお互い緊張していましたが、1か月間の共同生活を通じて、かなり親睦が深まったように感じます。

同期と一緒に東京観光をしたり、研修施設に併設された体育館でバドミントンをしたことはとても良い思い出になりました。今後の人生で、悩みを相談し合える仲間が全国にできたことはかけがえのない財産となりました。

最後になりますが、講師の方々を始め、本研修の企画や準備、手厚いサポートをしてくださった東京高検及び高知地検の企画調査課の方々、たくさん応援してくださった高知地検の皆様、本当にありがとうございました。



犯歴係@検務官室

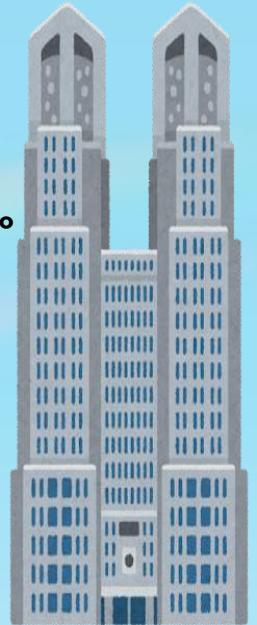
初等科研修に参加し、勉強はもちろんですが、たくさんの同期と交流ができ、充実した1か月となりました。

初等科研修が始まるまでは不安もあったのですが、終わってみるとあっという間で楽しい時間を過ごすことができました。

平日は、講義を通して、検察庁の業務について理解を深めることができました。また、検察官や事務官の方々から、実際の業務での経験話もたくさん聞くことができ、興味深かったです。

休日は、他地検の同期と東京観光をしたり、一緒にご飯を食べに行ったりして仲を深めることができ、今後の業務においても助け合うことのできる仲間ができました。

今後は、初等科研修で学んだことや同期とのつながりを大切にして業務に取り組んでいきたいです。



企画調査係@企画調査課

今回の初等科研修では、検察事務官として今後働くために必要な知識を身に付けることはもちろん、他の地検や高検の同期たちと親睦を深めることができ、本当に充実した1か月を過ごせました。

講義は、憲法や刑法などの法律の科目を始め、各部門の詳しい業務や手続の流れ、さらに、マナーやメンタルヘルス、ハラスメントといったものも学びました。

内容は決して簡単なものではありませんでしたが、グループワークなどで同期と意見を出し合ったり、実際に演習を行うことで、より深い学びにつながったと思います。

勉強はもちろん大事ですが、たくさんの同期と仲を深めることができたのが、何よりも嬉しかったです。

平日は、講義が終わるとご飯を食べに行ったり、談話室で他愛もない話や、将来の話、愚痴や不安なことなどを話していました。

休日は、買い物や食べ歩きをして東京観光を大いに満喫しました。これからも学びの連続だと思うので、たくさんのことを吸収し、同期たちと切磋琢磨しながら日々成長したいと思いました。

最後に、運営や支援をしてくださった東京高検、高知地検の皆様、本当にありがとうございました。

